

1 はじめに

塙山小学校には、「はなやまコール」と呼ばれる目標がある。児童は、この目標を意識しながら生活している。例年、計画委員会や各委員会が中心となって、集会活動を行っていたが、今年は、感染症対策として、集会や行事が大幅に削減されてしまった。感染症予防対策を行いながら、実施できた活動を中心に振り返る。



2 本校の実践

(1) ㊦つきりあいさつ返事 ～明るいあいさつを 広め隊～(9月～)

休校明けは、元気がない児童が多かった。教師からのアプローチももちろん大事だが、児童同士の自主的なあいさつが活発にできることが一番である。例年の「朝のあいさつ運動」は、学級や縦割り班に担当を割り当てる方法であったが、今年は、ボランティアとして呼びかけた。5・6年生を中心に、メンバーが増え、明るいあいさつが広がってきた。

(2) ㊧かよく外遊び ～1年生を 勇気づけ隊～(6月)

6年生は、1年生のサポートや一緒に遊ぶことを通して、上級生としての自覚が芽生える。しかし今年は、その関わりがもてず、「1年生を迎える会」も実施できなかった。そこで、計画委員会を中心に「1年生を励ます会」を実施した。全学年が歌や呼びかけの映像を作成し、1年生が「学校は楽しいな・上級生と遊んでみたいな」と思える機会となった。また、学校生活に慣れていない1年生が、上級生の姿に安心感を抱くことができた。

(3) ㊨る気で勉強・やり抜く清掃 ～気持ちのいい学校を つくり隊～(11月)

奉仕作業を行い、校庭の除草・石拾い・落ち葉掃きなどを実施した。これらの活動を通して、愛校心を育てるとともに、集団で活動することのよさを感じる機会となった。また、ボランティアとして始まったあいさつ運動が、児童の提案によって、朝清掃も加えながらと発展し、みんなが気持ちよく過ごせる環境が整ってきた。



(4) ㊩わりの人への思いやり ～優しい人を いっぱいにし隊～(1月)

今年は、一堂に集まれなかったため、映像や放送を流し、全校児童の気持ちを一つにする企画を行った。①創立記念集会では、創立クイズや草創期の方達の話をつづらせた。②思いやり集会では、いじめをしない・させないために各クラスで決めた人権スローガンの発表や、児童がいじめの場面を演じた「こんな人いませんか」の動画を視聴し、人を思いやることについて再確認した。一人一人が優しい人を目指す新たなきっかけとなった。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・集会行事の代わりに、今できることを企画し、自分達で考え、大事なことを下級生に伝えていこうという気持ちと自己有用感が児童に育まれてきた。
- ・「はなやまコール」を基本にして、自他共の成長を目指す集団になってきた。

(2) 課題

- ・計画委員会と各委員会の役割の見直しと、さらに全校児童のためになる企画作り